

元気いっぱい!

## 夏休み子ども教室

7/29 (火)

8/22 (金)

## ラフティング教室



8月22日、日野川でラフティング教室が行われました。日野川の上流をラフト（ゴムボート）で下っていくラフティング。子どもたちは歓声をあげながら段差のあるコースを下っていました。また、川の途中にある岩の上からジャンプするアクティビティにも挑戦。思い切って飛び込み、気持ちよさそうに泳いでいました。



## ふるさと歴史教室

子ども達にふるさとのことを知ってもらうため、4年生から6年生17人が「たたら楽校」の見学や根雨のまち歩きをしました。かつて、日野郡の人口3万人のうち2万人が何らかの形で製鉄業に関わっていたことを知り、子ども達の祖先が「たたら」に従事していたかもしれないと考えることができました。

まちを歩きながら水路の水がきれいなことを知り、自宅の周りにも自慢できるような歴史や文化財があることを学びました。また、降雪に耐える家の構造や暮らしを知り、根雨のまちがどのように造られてきたかなどに思いを馳せました。

## 街並みを照らす幻想的な明かり 灯籠まつり・盆夜市



▲幻想的な灯籠の光がまちを照らす

8月13日、町商工会館前で、灯籠まつり・盆夜市が開かれました。会場にはキッチンカーや屋台が並び、さらに、野外ライブやバルーンアートなどの催し物が行われました。また、牛乳パックを使った手作り灯籠などが200個以上点灯し、幻想的な雰囲気会場とまちを彩りました。

夜に行われた大抽選会では、豪華な景品を獲得できる機会に



▲映像作家奥谷秀平さんによる体験型アート  
▶子どもに大人気のバルーンアート

参加者は胸を躍らせていました。参加者は、帰省した家族や友人などと楽しいひとときを過ごしていました。



令和7年度

# 全町一斉防災訓練

〈日時〉 10月5日（日）

午前9時から

〈訓練内容〉

午前9時に防災行政無線で  
サイレンを鳴らします

▼地震を想定した情報連絡体制の確認訓練を行います。住民の皆さんは、防災行政無線の指示に従い、玄関先から各自治会で決めてある仮避難場所まで、避難訓練を行ってください。

▼防災への備えを再確認し、防災意識を高める機会にしましょう。

▼詳しい訓練内容は、別途チラシまたは防災行政無線でお知らせします。

【問合せ先】

役場総務課（電話 72-0331）



火点めがけ勢いよく放水（日野町消防団）

鳥取県西部広域消防圏連合演習

「もしも」に備え、地域を守る力を強化

8月31日、県西部地区町村消防団による大規模火災などに対する消防体制の確立・相互連携を目的とした、令和7年度鳥取県西部広域消防圏連合演習が行われました。

当日は、根雨地内での大規模火災を想定し、歴史民俗資料館付近から出火した火災が延焼したという設定で訓練が行われました。日野町消防団をはじめとする各町村の消防団は日ごろの訓練の成果を発揮し、機敏な行動をみせていました。

演習後は、旧日野中学校校庭で講評と式典が行われ、有事での万全な消防体制への確立に向けた確認を行いました。

たたら跡で新発見。歴史のロマンを体感

都合山たたら跡発掘調査現地説明会



新たに見つかった地下構造の説明を聞く参加者

都合山たたら跡（中萱）で、江戸時代後期の製鉄炉の地下構造の一部が見つかり、8月17日、たたら跡の現地説明会が行われました。

都合山たたら跡は、明治22年から32年まで鉄山師近藤家が経営した「たたら場」として知られています。今回の調査では、本床や小舟など、製鉄炉内を高温に保つための地下構造の一部を発見。また、18〜19正規の陶器片も見つかるなど、新たな発見がありました。参加者は、熱心に質問したり発掘跡を眺めるなど、興味深い様子で見学していました。

集落支援員  
だより

KATAGIRI KEI  
片桐 圭

担当地区：  
高尾・後谷・金持



8月15日に高尾公会堂で毎年恒例のそうめん流しをしました。高尾集落の皆さんや、帰省中のご家族も参加され、盛り上がりしました。

前日に使用する竹を切り出すことから始まり、暑い中ではありましたが、鮎の唐揚げやすっぱん鍋も提供され、最後には参加していただいたお子さんたちのスイカ割りとお盛りだくさんの会でした。